

## 第3回古賀市生涯学習笑顔のつどいを振り返って

1、日時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の夏祭りや人権セミナーの翌日など、いろいろな行事と重なっていた。</li> <li>・いろいろな行事が落ち着く6月中旬～7月中旬が良いのでは？</li> </ul>
2、参加人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が少なかった。</li> <li>・分館長・分館主事の参加がすごく少なかった。</li> <li>・第1回が338人、第2回が275人。今回が170人となっているが、開催時期が悪かったのではないか。</li> <li>・区長、分館長・分館主事にも声をかけたが、夏祭りがあるので難しいと言われた。</li> <li>・学校職員も地域に参加しなければならず、出席できなかった。</li> </ul>
3、会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょうど良かった。</li> <li>・後方でもスライドをきちんと見ることができた。</li> <li>・ポスターセッションの場所も分かりやすくよかったのではないか。</li> <li>・私語や途中退席が少なかった。ステージと近いことにより、一体感が生まれたのでは？</li> <li>・会場が分かりにくく、迷われていた方が多かった。もっと案内を出したほうが良いのでは。</li> </ul>
4、実践報告・講師助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3団体(15分×3)、適切なスライドの枚数を事前に提示する。</li> <li>・来年度 ①商工会青年部推薦 ②コミュニティ運営協議会 ③提言の報告</li> </ul>
5、活動発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2団体(器楽演奏、合唱)</li> <li>・りんコールがすごく盛り上がり、違う立場の会での発表は、いいことだと思った。</li> <li>・キッズブラスは、保護者も『こういう場に参加させてもらってよかった』と話していた。</li> </ul>
6、オープニング映像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年(中高生)の写真が欲しい。</li> <li>・BGMのボリュームアップ。</li> <li>・新しい写真の発掘(社会教育委員の手で)</li> <li>・写真にどの地域の何の写真か、コメントを入れたほうが良い。</li> </ul>
7、参加体制の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔のつどいのお知らせ(実施した)を口コミで各地域、各団体へつなげる。</li> <li>・中身は良いものなので、団体にノルマを課しても良いのではないかと思った。</li> <li>・減免団体に参加してもらおうと、『自分たちも出演するとしたらどういったことができるか』ということを考える良い機会になるのではないか。いろいろな団体をつなぐことができれば、広がっていくのではないか。</li> </ul>
8、役割分担・会場配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担の提示や、会場配置図がありよかった。</li> <li>・司会について、様子を見ながらの声かけや場つなぎがあり、とても良かった。</li> <li>・委員同士のコンビネーションがすごいと思った。</li> </ul>
9、リハーサル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践報告2回、活動発表1回のリハーサルは、当日の目途もたち、良かった。</li> </ul>
10、ポスターセッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は少なかったが、良い試みだった。</li> <li>・参加者同士や関係者がいろいろな話をする事ができてよかった。</li> <li>・発表者以外のポスターもあっていいかと思うが、関係者がずっと張り付くことができないので、その点の考察は必要。</li> </ul>
11、つどいの構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践報告(2～3団体)、活動発表2団体という基本的な構成について→5年間は継続して良いのではないか。</li> </ul> <p>【黒田館長より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3団体になると15分が上限となるため、駆け足になり難しい。</li> <li>・2団体20分上限の方が、参加者の理解をより得られるのではないか。</li> </ul>
12、その他	